街角特派員リポートNo.202

まちの(MINI)専門店街 ORATOWN MINISHOP

個性が集まる、手づくりミニショップ

今回の特派員リポートは、シンボルタワーにある手づくりミニショップから。
そこには、個性あふれるオリジナル作品が並んでいます。
皆さん知っていますか？

すてきな場所です。ミニショップ

私も出店している、シンボルタワーの中にある手づくりミニショップ。（以下、ミニショップ）「こんなにすてきなショップが町に」と私自身もひとめぼれした一人。そのすてきな場所をもっと多くの人に知ってほしいと思ったのが、今回のリポートのきっかけでした。このリポートを読んで多くの人に足を運んでほしいと思います。

ミニショップは町内在住・在勤者が、自分で製作したハンドメイド作品を展示販売できるショップです。作品の品質も良く、プレゼントやお遣いものにも重宝されています。

ミニショップには30ブースあり、バッグやヘアゴム、アクセサリー、フラワーアレンジメント、帽子、ハーバリウム、布小物、ネイルチップ、木工品などジャンル問わずさまざまな作品が並んでいます。きっと誰もが楽しんでいただける空間になっています。町内だけでなく町外、県外のかたの利用も非常に多いです。

出店者としても、このミニショップをきっかけに、町内のイベントへの出店や町外でのイベントへの参加をして、町を盛り上げていければと思います。ミニショップへ来たことがない人はこの機会にぜひお越しください。あなたのお気に入り作品が見つかるかもしれません。

街角特派員
田村 友莉香
（下中野・Ⅰ区）

Profile●たむら・ゆりか
シンボルタワー手づくりミニショップの出店者代表。日本サンドペインティング協会会員として、関東地区で活動。また、ショッピングモールでのイベントやサンドペインティング技術の資格取得講座、協会テキストや書籍の出版なども行う

01 START ミニショップのはじまり

私とミニショップの出会い

手づくりミニショップは町の観光スポットの一つ

私がミニショップと出会ったのは、平成28年のことです。転職をして町の商工会に入会の申し込みに伺った際に、職員のかたから「シンボルタワーの中に『手づくりミニショップ』というブースがあるのは知ってる？」と何気ない会話の中で教えていただいたことがきっかけでした。その後、商工会からすぐにシンボルタワーへ。

それまで町に住んでいましたが、シンボルタワーの中にミニショップがあるなんて知りませんでした。小学生以来、訪れたことがなかったシンボルタワーには、すてきなミニショップがありました。

ミニショップに初めて出会ったときはまだまだブースも空いており「出店したら楽しそう！」と思い、すぐに申し込みを決めました。

ミニショップについて、役場商工振興課の舩橋係長にお話しを伺ったところ「ミニショップのはじまりは、町に新しい観光スポットを、というところからでした。せっかくであれば町民のかたに町を盛り上げてもらいたいと考え、町の作家さんたちにご協力いただき、平成26年2月にミニショップが立ち上がりました。スタート以来、大変ご好評をいただいております。私もファンの一人です」と話してくれました。

今では30ブースある全てがいっぱい。出店者の皆さんとミニショップが町の観光スポットとして知ってもらえるように、私もお手伝いできればと思います。

02 INFO ミニショップのおすすめ

ミニショップの概要をご紹介

シンボルタワーロビーの一角、まちの専門店へ、ようこそ

タワーのロビーの一角に、白い大きな棚。そこには、30ブースのお店が並びます。ぜひ来てほしいミニショップ。まずはおすすめポイントを紹介

全てオリジナル作品

ミニショップにある作品は、全てがオリジナル。雑貨やバッグ、服飾品など出店者それぞれの想いがこもった作品や驚くようなアイデア作品など種類は豊富。きっと誰もが楽しめる空間になっています。

簡単ラッピングコーナー

ミニショップで購入した作品などを、その場でセルフラッピングできるように、ラッピングコーナーがあります。家族、友達、恋人などのプレゼントにいかがでしょうか。

イルミネーションと一緒に

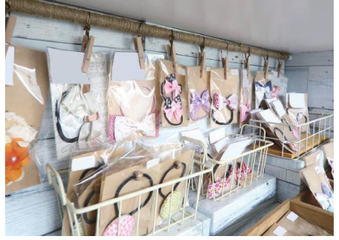
ミニショップの場所はシンボルタワーのロビー。シンボルタワー開館時間中は、いつでも作品を見ることができます。ミニショップ（ロビー）の入場は無料です。また、イルミネーションの季節は開館時間を午後8時30分まで延長しています。

あったらいいなカード

今年から『あったらいいなカード』を設置しました。希望する作品を書いて投函すると、出店者たちが、希望の作品をつくってくれるかもしれません。

■シンボルタワー INFO

午前10時～午後4時（4～9月は午後6時）まで
※祝日を除く、月・火曜日休館。
※ミニショップ（ロビー）への入場は無料ですが、展望台にのぼる場合は100円かかります。



えみ♡えみ

袖口手甲や髪飾り、ティッシュケース

喜ばれる作品を

踏み台や棚などを手づくりしていた父、着物を縫う仕事をしていた母。その影響なのか、小さい頃から何かを手づくりすることが好きでした。ショップには、髪飾り、オンナノコポーチ、袖口手甲、猫柄のティッシュケースなどご好評いただいている作品を出品。今後は、トールペイントのサインボードやスヌード、ベビースタイなど、皆さんに喜んでもらえるものをつくっていきます。

小島恵美子さん
Kojima Emiko
（天王元宿・5区）

●ダンスや音楽などが好きで、舞台衣装の製作も行う。「最近は子や孫の小物やバッグ、パンツなどをつくるのが楽しみ」と話す。その他、トールペイントやシャンソンと趣味は多彩

Kyo-ko HanD Made

デニム生地を使った、バッグやポーチ

使いやすさを一番に

学生時代から作品をつくることが好きで、服飾の学校にも通っていました。そこが作品づくりの始まりです。今は、他の人とかぶらない私だけの一点もの作品を目指して、作品をつくっています。小物やバッグ、ポーチを中心に製作を行っています。作品はできるだけ洗える生地を使い、ポケットの大きさや位置など、使いやすさにこだわっています。町内で開催している『ふれあいマルシェ』や近県のイベントにも出店しています。ぜひお越しください。

横山恭子さん
Yokoyama Kyo-ko
（水立大黒・23区）

●使いやすさにこだわった布バッグや布小物などの作品を手づくりしている。町内のみならず、近県のマルシェなどにも出店。「お客様のお気に入りに出会えたら」と話す

03 COMMUNITY
ミニショップでつながる

ここで広がる仲間たちの輪

出店者のかたたちをご紹介します

ミニショップに出店を始めたことで、作り手たちの仲間の輪が広がっていきました。今まで関わることのなかった人が、ミニショップ、そして作品を通じて、つながりました。今その仲間たちとは、月1回の『マルシェ』を開催しています。今回はミニショップの作品の一部を紹介。また出店者の人たちに、それぞれの作品づくりのきっかけやこだわりを聞きました

手づくりミニショップINFO

新規出店者募集しています

ミニショップは、高さ32cm×幅86cm×奥行35cmのスペースに、自分のオリジナル作品を出店可能。販売できるものは、既製品や飲食物以外でスペースに入る作品です。区画は1区画月額500円で、誰でも簡単に自分のお店を持つことができます。

ストーン工房“aco”

パワーストーンのアクセサリー

多くの人を元気に

自分自身が弱っていたときに出会ったのがパワーストーン。私を元気にしてくれました。それがきっかけで、パワーストーンの勉強を始め、このパワーをいろいろな人に分けてあげたいと思いました。ミニショップ出店を機に作品の幅も広がり、出店する機会も広がっています。ブレスレットやストラップ、イヤリング、ネックレスなどをリーズナブルな価格で提供することを心がけて製作しています。これからも、皆さんにパワーをお分けできればと思います。

秋山加代子さん
Akiyama Kayoko
（水立大黒・23区）

●天然石、トンボ玉アクセサリーを製作。ミニショップを中心に地元のお店や美容室などにも出店している。「作品を手に取った人が笑顔になってもらえたらうれしい」と話す

サンドリヨン・シュシュ

綿100%のシュシュやハンカチ

体に優しいモノを

亡くなった母に病気が見つかったとき、明るい母が後ろ向きになっていました。そのとき一緒に作品づくりをして元気づけたいと思い、製作を始めました。私は体に優しい“モノ”にこだわって作品づくりをしています。ショップには綿100%のガーゼハンカチやシュシュなどを出品しています。また季節にあった作品などの出品もしています。これからも皆さんに気に入ってもらえる作品づくりを続けていきます。

軽部雅美さん
Karube Masami
（明野・34区）

●興味があるもの、ほしいと思うものを気ままに製作。こだわりは体に優しく、心のこもったモノづくり。「『気に入って使っているよ』という言葉が何よりうれしい」と話す

04 EXTEND ミニショップから広がる

タワーをとびだし町を盛り上げたい

ふれあいマルシェで町を盛り上げる

毎月10日、篠塚の焼きそば屋「興信園」さんの庭がマルシェに変わります。雑貨やバッグ、観葉植物までさまざまな手づくり作品が並び、にぎわっていました。ミニショップから始まった輪が、タワーをとびだし、新しい輪を広げています。出店者も来場者も笑顔に包まれている空間がそこにはありました。

主催者の秋山加代子さん（水立大黒・23区）は「毎月10日はマルシェの日」として始めました。この場所が出店者と来場者の憩いの場となり、その輪が少しずつでも広がっていけばうれしいです」と話していました

取材を終えて

手づくりミニショップは対面販売ではありませんが、「このような人が○○に使うために購入していきました」と購入エピソードを聞くことは出店者の楽しみの一つです。

そして、その想いを形に対面販売を実現したイベント『ふれあいマルシェ』。今回の取材でも出店者や来場者のかたの笑顔、そして作品がより一層輝いているのを見ることができました。これからもその輝きがそこに集い、そしてその輪が一つ、二つと増え続けていくことを願います。

また、今回の取材をきっかけに産業祭での対面販売とワークショップを開催することになりました。普段会うことのできない出店者と来場者のかたが会える貴重な機会です。ぜひお越しください。

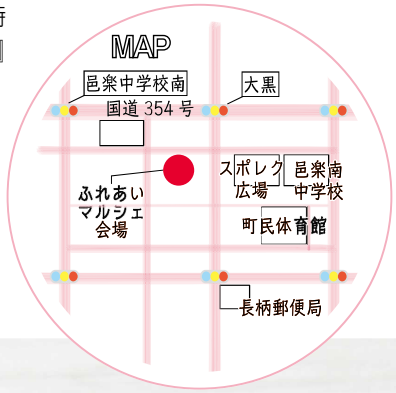
シンボルタワーの周りは、四季折々、花が咲いたり、イルミネーションが輝いたりと季節を楽しむことができる場所。そして、シンボルタワーロビーの一角にも……。『今度の休日はミニショップ』というのはいかがでしょうか。 ―終―

05 EVENT ミニショップのイベント情報

毎月10日に開催しています

ふれあいマルシェ

期日 毎月10日（夏季と冬季に不開催月あり）
時間 午前11時～午後3時
場所 焼きそば屋『興信園』（篠塚1596-3）
内容 出店者による作品の販売など
問合先 ふれあいマルシェ（秋山）☎090-4126-3582



ワークショップを初開催

産業祭de ワークショップ

期日 11月4日㊐
時間 午前10時～午後3時
場所 シンボルタワーロビー
内容 ミニショップ出店者によるオリジナル作品の販売やワークショップを行う
問合先 役場商工振興課 ☎47-5026